



賢く 優しく 逞しく

5月号・令和5年5月1日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

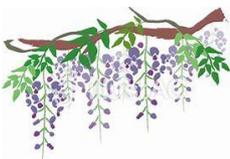
武蔵村山市立第五中学校

伝統と発展

校長 榎戸 千代子

新年度が始まり、早1か月が過ぎました。昨年度までと違って、校舎には子供たちの元気な声が響き渡り、活気が戻ってきました。

先月下旬は25℃を超える日があり、初夏を思わせる気候となってきました。夏の始まりを意味する「立夏」は、二十四節気の一つで、今年は、ゴールデンウィーク中の、5月6日（土）になるそうです。緑が生い茂り、田植えや種まきが始まる時期でもあります。



「♪夏も近づく八十八夜〜♪」（文部省唱歌「茶摘み」）でおなじみの、「八十八夜」は、立春から数えて88日目で、今年は5月2日（火）だそうです。新茶の季節でもあります。新茶は、テアニンという旨味・甘味成分をたっぷり含み、心身をリラックスさせたり、集中力を高めたりする効果があると言われています。たまには大自然の中で、青葉若葉を吹き抜ける心地良い薫風を肌で感じながら、新茶を味わい森林浴を楽しむのも良いですね。

植物が大きく生長するこの時期、子供たちも日々たくさんのおおきくを吸収し、大きく伸びていってほしいと思います。

さて、5月1日（月）は、本校の開校記念日です。昭和55（1980）年に第一中学校から分かれて、市内で5番目の中学校として誕生しました。校長室には辺り一面畑の中に、本校一棟だけが写っている、当時の貴重な白黒の写真が飾られています。開校当初は校舎のみで、その後7月にプールが、10月にテニスコートや体育館が完成しました。開校から10年ごとに周年記念の航空写真が撮られ、少しずつ学校の周辺に家が建ち、発展してきた様子が分かります。今年の3月末で卒業生は、9218名となりました。

この間、校庭の芝生化や太陽光パネルの設置、武道場の完成、トイレの改修、特別教室や体育館へのエアコンの設置、外壁塗装や窓枠工事など、校舎も子供たちとともに発展してきました。たくましく生きる力と豊かな人間性を備え、自主性と社会性に富んだ生徒の育成を目指して「賢く」「優しく」「たくましく」を教育目標に掲げ、教育活動を受け継いでまいりました。

校章は武蔵村山市の特産である、お茶の葉と花をデザインしています。3枚の葉は、教育目標の「賢く・優しく・たくましく」を示し、さらに3つの学年も意味し、10本ある葉脈は調和と完全を象徴していると言われています。



開校当時の「明るく元気なあいさつ」は、校内のみならず、校区小学校児童会と連携し、「合同あいさつ運動」としても受け継がれています。また、平成16年から始まった「五中フェスティバル」は、地域や保護者の皆様の御協力のおかげで、伝統行事として長く継承されています。生徒の手で創りあげる「学校行事が盛んな学校」、「部活動が盛んな（強い）学校」、「保護者や地域と連携している学校」として現在に至っています。

10年後に「多摩都市モノレール開業」の話も現実化してきました。学校では、自分たちの住んでいる地域を今後、さらに、どのように発展させていくのかということを考えながら、「まちづくり学習」を進めてまいります。

本校の卒業生たちは様々なところで活躍され、母校である「五中」を愛し、応援してくださっています。また、地域で「五中」を支えてくださる方々も大勢いらっしゃいます。大変有り難く思っています。これからも五中の良き伝統を受け継ぎ、さらにより良く発展させ、地域・社会で活躍できる子供たちを育成してまいります。保護者、地域の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）